



学校だより

2月号

横浜市立大道小学校
平成30年1月30日

学校ホームページ：[横浜市立大道小学校](#)

検索

夜空を見上げると・・・

校長 富岡 正雄

冬の夜に、南の空を見上げると、すぐに見つけられる星座が「オリオン座」です。星座の中央の3つの星がオリオンの腰の辺りで、その周りを囲む4つの星がオリオンの体です。東側のベテルギウスとおおいぬ座のシリウス、こいぬ座のプロキオンの3つの星で、「冬の大三角」を形づくっています。

磯子区洋光台には、「はまぎんこども宇宙科学館」があり、ここでは宇宙劇場として【プラネタリウム】が上映されています。

日本で初めてプラネタリウムが設置されたのは、大阪市立電気博物館（現在の大阪市立科学館）で今から81年前のことです。

現在、世界にあるプラネタリウム館は、2700館といわれ、そのうち日本には400館あるそうです。しかし、プラネタリウム機器を開発・製造している会社は、世界に数社しかないというのは意外な感じがします。



世界最先端のプラネタリウムを作り続ける大平さんの挑戦

2004年、「世界で最も先進的なプラネタリウム」製作者として、ギネス記録の認定を受けた「大平貴之さん」が、現在まで歩んでこられた一部を概略として紹介します。

- 大学生の頃、個人製作は不可能と言われたレンズ式プラネタリウムを完成。
- 就職後、1998年には170万個、2003年には410万個の星の投影に成功。
- その後、世界初のデジタルプラネタリウムと光学式プラネタリウムを融合させた世界最多となる10億個以上の星が投影可能な装置を完成。

実は、この大平さんのプラネタリウムに対する興味は、小学校時代の出合いでした。

- 10歳の時、川崎市青少年科学館で見た星空に感動し、紙に塗った夜光塗料を部屋に張り付けて、1000個を超える星を再現。
- 自宅に来た同級生や親戚、家庭訪問に訪れた担任の先生、時には何人かを集めて特別上映会を実施し、プラネタリウム解説員として説明を行った。

「興味・関心のアンテナ」を高く掲げよう

本校では、「国語・算数等の教科学習」「給食や掃除等の当番活動」「委員会・クラブ・たてわり活動・地域と連携した体験活動」等、様々な教育活動を行っています。これらの活動の中で学んだことや体験・経験したことが、一人ひとりの成長の糧になればという思いや願いで実施しています。

先ほどの大平さんのように、何かがかきかけとなり、「興味や関心」につながり、それを【追究・発展・深化】させることができれば素晴らしいと思います。そのためには、「興味・関心のアンテナ」を高く掲げて毎日を過ごしたいものです。そして、自分の新たな力を発見し、得意分野を伸ばし、自己実現ができることを期待しています。

- <参考資料> 「プラネタリウムの歴史」 コニカミノルタ
「プラネタリウム男」 大平貴之著 講談社現代新書